

#情景描写

を正しく理解し、適切な物を選択する

平成26年小学校国語A問題からの出題(現中三が小六の頃)

年 組 名前

次は、南田さんが想像したことをもとにして書いている【物語の一部】です。南田さんは、橋本さんから助言をもらっています。あとの【二人の会話の様子】の の中に入る内容として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【物語の一部】

良太は、小学三年生の男の子。春休みに、大きな町から引っこしてきました。四月、引っこした先の学校に通い始めましたが、はずかしがり屋の良太は同じ学級の人に声をかけることができませんでした。

おだやかな風がふく、ある日のことです。学校から家に帰った良太は、近くの公園に出かけました。その公園は、学級みんながよく遊んでいる場所です。学級のだれかと会って話をしたくて、そこでじっと待つことにしました。しかし、公園にはだれも来ません。

良太は、さびしい気持ちでいっぱいになりました。

「こんなところなんてきらいだ。友達なんていらぬや。」
と、小さな声でつぶやきました。

〽 (物語が続く) 〽

【二人の会話の様子】

南田 ——— 部では、良太の気持ちを「さびしい」と表現したけど「さびしい」という言葉を使わずに、うまく表現できないかな。

橋本 それならば、その気持ちを で表したらどうだろう。

南田 それはいいね。(しばらく考える。)

では「いつの間にか灰色の雲が広がり、公園はだんだんと暗くなってきました。」
としたらどうかな。

橋本 そうだね。そのように書きかえると、「さびしい」という言葉を使わなくても、

読み手に良太の気持ちや様子を想像させることができると思うよ。

〽 (会話が続く) 〽

- 1 良太の顔の表情
- 2 良太の心の中の声
- 3 良太の周りの風景
- 4 良太の行動



■正答について

- 【二人の会話の様子】において、南田さんは「さびしい」という気持ちを「灰色の雲」が広がって、「だんだんと暗くなって」いく公園の様子によって表現しようとしていることを捉える必要がある。

■誤答について

- 選択肢 1, 2, 4は、「いつの間にか灰色の雲が広がり、公園はだんだんと暗くなってきました。」という表現の説明としてあてはまらないので誤答である。

こんな力が求められています

■主人公の心情を直接的な表現ではなく、「情景描写」による表現方法によって書き換えることができれば
 まあか。

こんな問題が出題されます (H29 国語 A 問題)

せいしちめい!

明日に迫った合唱コンクールに向けて、健一たちは練習をがんばってきた。
 そしていよいよ本番に向けての最後の練習。張りつめた空気の中、指揮者の動きとともに歌声とピアノの音が静かに止まる。

《・・・・・・・・・・・・・・・・》

がんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直すことにしました。がんばるという単語を使わずに、十五字以内で書きなさい。

がんばった // **他の表現に書き換える!**

健一たちは

じならのへいと交換して意見をいただきます。○をつけてもらいましょ。

「うまいー」「まあまあ」「私ならこう表現する」・・・といった褒め言葉を!